

- 問1 日本国憲法の前文には、主権者である国民が政治を行う仕組みについて記されています。国民が自らの意思を国政に反映させるために、どのような人々を通じて行動すると定められていますか。その名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------------|-------------------------|----------------------|
| 1. 天皇によって任命された国務大臣 | 2. 国民投票によって直接指名された内閣総理大臣 | 3. 各都道府県の知事によって構成される評議会 | 4. 正当に選挙された国会における代表者 |
|--------------------|--------------------------|-------------------------|----------------------|
- 問2 日本国憲法第13条が定める「個人の尊重」の理念に基づき、生命や自由とともに、すべての国民に保障されている権利を何とといいますか。この権利は、プライバシーの権利や肖像権といった「新しい人権」が認められる際の法的な根拠ともなっています。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|-------------|
| 1. 生存権 | 2. 幸福追求権 | 3. 知る権利 | 4. 教育を受ける権利 |
|--------|----------|---------|-------------|
- 問3 日本国憲法の平和主義に関連して、憲法第9条の規定内容と、それに基づく自衛隊に関する政府の見解をまとめた資料があります。この内容について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 憲法第9条では戦争の放棄のみが定められており、戦力の保持や交戦権については一切触れられていない。 | 2. 憲法第9条は戦力の不保持を定めているが、政府は自衛のための必要最小限度の実力を保持することは違憲ではないとしている。 | 3. 政府は、自衛隊は「戦力」に該当するが、国際貢献のために特例として認められる組織であるとの見解を示している。 | 4. 憲法第9条には自衛隊の設置が明記されており、国の交戦権についても全面的に認められている。 |
|---|---|--|---|
- 問4 日本の法体系における「法律」と「命令」の関係についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 内閣などが制定する命令は、国会が制定する法律の内容に反してはならない。 | 2. 法律は命令を具体化するために作られるものであるため、命令の範囲内で制定される。 | 3. 法律と命令はどちらも国のルールであるため、効力の強さは全く同じである。 | 4. 命令は行政が直接出すものであるため、国会が制定する法律よりも優先される。 |
|--|--|--|---|
- 問5 日本国憲法の基本原理の一つである「国民主権」とはどのような考え方ですか。その内容を最も適切に説明しているものを選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 国の最高権力である統治権を、天皇が総攬（そうらん）するという考え方 | 2. 国の政治のあり方を最終的に決定する権利は国民にあるとする考え方 | 3. 憲法を改正する権限を国会のみが持ち、国民はそれに従う義務があるとする考え方 | 4. 国の政治を決定する権利を、特定の専門家や世襲の代表者に限定する考え方 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問6 日本国憲法が、法律の制定や改正に比べて非常に厳しい手続き（硬性憲法としての仕組み）を採用している理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 社会情勢の変化に合わせて、法律と同様のスピードで憲法の内容を更新し続けるため。 | 2. 時の政権や議会の多数派の判断によって、国家の根本原則や人権保障が容易に変更されるのを防ぐため。 | 3. 内閣総理大臣の権限を強化し、緊急時に迅速な意思決定を行えるようにするため。 | 4. 各都道府県の議会による承認を必須とすることで、地方自治の独立性を守るため。 |
|--|--|--|--|
- 問7 戦後の民主化政策の中で示された、新旧の政治体制を比較した視覚的な解説によれば、かつての体制では天皇が軍や貴族の上に立つ絶対的な存在でしたが、現在の体制では男女の国民が主役となり、天皇はその統合の証として位置づけられています。このような「象徴天皇制」が導入された背景や仕組みとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 天皇に強い政治的指導力を与えることで、戦後の混乱した社会を迅速に復興させる体制を整えた。 | 2. 天皇を国の元首として位置づけ、外国との条約締結や宣戦布告を天皇の独断で行えるようにした。 | 3. 天皇を政治的な実権から切り離すことで、国民が選んだ代表者が国政を担う国民主権の原則を確立した。 | 4. 満20歳以上の男女に選挙権を与えた上で、天皇がその選挙結果を承認しなければならない仕組みとした。 |
|---|---|--|---|
- 問8 日本国憲法の三つの基本原理の構成について説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 「国民主権」「基本的人権の尊重」とともに、恒久平和を目指す「平和主義」で構成されている。 | 2. 「立憲主義」「法の下での平等」とともに、国際協調を推進する「国際主義」で構成されている。 | 3. 「国民主権」「社会権の保障」とともに、自衛権を行使する「安全保障主義」で構成されている。 | 4. 「民主主義」「基本的人権の尊重」とともに、国のあり方を規定する「最高法規」で構成されている。 |
|---|---|---|---|
- 問9 戦時中の軍国主義的な記述を墨で塗りつぶした「墨ぬり教科書」が使われた時代を経て、1947年に新たな教育の目的が法制化されました。この法律の第1条において、育成を目指すとして定められた「国家及び社会の形成者」のあり方として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 高度な専門知識を身につけ、経済成長を優先する国家の形成者 | 2. 人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者 | 3. 天皇の臣民としての自覚を持ち、国威発揚に貢献する社会の形成者 | 4. 伝統的な価値観を重んじ、国家の命令に忠実に従う社会の形成者 |
|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
- 問10 日本国憲法が定める「象徴天皇制」に関する説明として、憲法の規定に照らして最も適切な記述を選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 天皇は国政に関する権能を有し、内閣総理大臣を自らの判断で任命する。 | 2. 天皇は国の統治権を総攬する立場であり、法律の制定を拒否できる。 | 3. 天皇の地位は、主権の存する日本国民の総意に基づいている。 | 4. 天皇の地位は、皇室会議の議決のみによって決定される世襲のものである。 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
- 問11 日本の安全保障と核兵器に関する記述のうち、非核三原則の性質や他の用語との関係について説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 非核三原則のうち「持ち込ませず」という項目は、日本が同盟国の核抑止力に頼る「核の傘」の考え方を明文化したものである。 | 2. 非核三原則は、核保有国が核を持たない国へ核兵器を渡すことを禁止した国際的なルールの呼称である。 | 3. 非核三原則は、日本政府が国是として掲げている方針であり、国際条約である核拡散防止条約（NPT）とは別の性質を持つ。 | 4. 非核三原則は、核兵器の平和利用に限定して製造や保有を認めるという制度である。 |
|---|--|--|---|
- 問12 国民主権の原則に基づき、国民が選出した代表者を通じて政治を行う仕組みを間接民主制と呼びます。この考え方において、日本国憲法第41条で「国権の最高機関」と規定されている機関はどこですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|-------|--------|
| 1. 内閣 | 2. 会計検査院 | 3. 国会 | 4. 裁判所 |
|-------|----------|-------|--------|
- 問13 ある国の政治体制について、「世襲の君主は存在するが、政治の意思決定は国民から選ばれた議員で構成される議会が行い、政府は議会に対して責任を負う」という特徴がある場合、この体制を何と呼びますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|--------|
| 1. 絶対王政 | 2. 立憲君主制 | 3. 直接民主制 | 4. 共和政 |
|---------|----------|----------|--------|